

業務システム向け FAXサーバーソフト    スターファクス サーバー エスディーケー

---

# **STARFAX<sup>®</sup>** ***Server SDK***

**VB 開発向け**  
**クライアント送信プログラミング**

## はじめに

本書は、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていない別のパソコンから FAX 送信を行う方法のご説明と、ユーザープログラムの作成方法をご説明しています。

なお、本書は、Visual Basic 6.0 を開発ツールとしてプログラムを作成する方を対象としています。本書をお読みになる前に、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」をお読みいただき、STARFAX Server SDK の動作をご理解していただくようお願いいたします。

### ■ ご注意

本書に登場するシステム名・製品名は、一般に開発メーカーの登録商標です。

## 本書の構成について

本書は、次のような内容で構成されています。

- 第Ⅰ章 ユーザープログラムの開発について
- 第Ⅱ章 FAX 送信命令フォルダを共有して FAX 送信
- 第Ⅲ章 [ メール de FAX ]で FAX 送信

まずは第Ⅰ章に、開発の手順等をご説明していますので、第Ⅰ章をご覧になってから、第Ⅱ章、または、第Ⅲ章にお進み下さい。

## 目次

はじめに	.....	1
本書の構成について	.....	1
 <b>第Ⅰ章 ユーザープログラムの開発について</b>		
1.1 開発の手順	.....	4
 <b>第Ⅱ章 FAX 送信命令フォルダを共有して FAX 送信</b>		
2.1 FAX 送信命令フォルダを共有して FAX 送信	.....	6
2.2 サンプルプログラム	.....	7
2.1.1 FAX 送信する ... (SendFAX.exe)	.....	8
2.1.2 印刷結果の FAX 送信 ... (PrtCli.exe)	..... 1 2	
2.1.3 TIFF ファイルの作成と FAX 送信 ... (PrtCli2.exe)	.....	1 6
 <b>第Ⅲ章 [ メール de FAX ]で FAX 送信</b>		
3.1 [ メール de FAX ]で FAX 送信	.....	2 1
3.2 [ メール de FAX ]の依頼メールの仕様	.....	2 2
3.3 サンプルプログラム	.....	2 8
3.3.1 FAX 送信する ... (SendFAX.exe)	.....	2 9
3.3.2 印刷結果の FAX 送信 ... (PrtCli.exe)	..... 3 4	
3.3.3 TIFF ファイルの作成と FAX 送信 ... (PrtCli2.exe)	.....	3 9

# 第 I 章

## ユーザープログラムの開発について

ユーザープログラムの開発の手順についてご説明しています。

### 1.1 開発の手順

## 1.1 開発の手順

STARFAX Server SDK をセットアップしていない別のパソコンから FAX 送信を行う為には、1 台のパソコンに STARFAX Server SDK 本体のセットアップを行い、もう 1 台のパソコンにクライアント環境のセットアップを行う必要があります。

そして、ユーザープログラム開発を行う前に、STARFAX Server SDK 本体の操作を簡単に理解しておく必要があります。それらを考慮して、以下の手順でユーザープログラム開発を行うことをお奨めします。

- ① 「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」をお読みください。
    - [ STARFAX Server SDK のセットアップ(本体) ] を行ってください。
    - STARFAX Server SDK の基本的な操作を理解してください。
    - もう 1 台のパソコンに
      - [ クライアント送信のサンプルと O C X のセットアップ ]
      - [ プリンタドライバ のセットアップ ] (※)
      - [ ビューア のセットアップ ] (※)を行ってください。  
(※サンプルプログラムによって必要となります)
  - ② [ STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコン ] と [ クライアント送信を行うパソコン ] の連絡を、共有フォルダを利用して行う場合は、  
第Ⅱ章 FAX 送信命令フォルダを共有して FAX 送信を、ご覧ください。  
  
メール送信を利用して連絡を行う場合は、第Ⅲ章 [ メール de FAX ]で FAX 送信を、ご覧ください。  
  
そして、クライアントパソコンから FAX 送信する仕組み、及び、各種サンプルプログラムを学習してください。
  - ③ ユーザープログラム を作成してください。
    - ①～② を踏まえて、ユーザープログラムの作成・テストを行って下さい。
-

# 第Ⅱ章

## FAX 送信命令フォルダを共有して FAX 送信

FAX 送信命令フォルダを共有して、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンから FAX 送信する方法についてご説明します。

- 2.1 FAX 送信命令フォルダを共有して FAX 送信
- 2.2 サンプルプログラム

## 2.1 FAX 送信命令フォルダを共有して FAX 送信

FAX 送信命令フォルダを共有して、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンから FAX 送信する方法は、以下の通りです。

(以降、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコンを [ サーバー側 ]、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンを [ クライアント側 ] とします)

- ① [ サーバー側 ] で STARFAX Server SDK を起動します。  
(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」P21 参照)
  - ② [ サーバー側 ] の 送信命令フォルダ [ 制御関連インターフェイスフォルダ\SENDMIS ] を共有設定して、他のパソコンからアクセス (読み書き) できるようにします。  
(※フォルダの共有設定方法は、OSにより異なります)
  - ③ [ クライアント側 ] から STARFAX OCX のメソッドを使用して、共有している送信命令フォルダに、送信命令ファイルを作成します。  
(FAX 送信コントロール [ SFCSSendFax ] - MakeSendMissionToSharedFolder 《共有フォルダ形式の送信命令ファイル作成》FAX 送信の詳細は、「STARFAX Server SDK VB 開発向け OCX リファレンスマニュアル」の 2.1 FAX 送信コントロール [ SFCSSendFax ] をご覧下さい。)
-

## 2.2 サンプルプログラム

サンプルプログラムは、3種類のプログラムを用意しています。それぞれ、元となるサンプルプログラムがあり、FAX 送信に関する部分を共有フォルダに出力する仕組みに変更して、クライアント動作するようにしています。

共有フォルダ以外の処理については、元の各種マニュアルをご覧ください。

- FAX 送信する (SendFAX.exe)

元のプログラムは、「STARFAX Server SDK VB 開発向け OCX プログラミングマニュアル」の  
2.1 FAX 送信 をご覧ください。

- 印刷結果の FAX 送信 (PrtCli.exe)

元のプログラムは、「STARFAX Server SDK VB 開発向けプリンタドライバとビューア」の  
2.1 印刷結果の FAX 送信 をご覧ください。

- TIFF ファイルの作成と FAX 送信 (PrtCli2.exe)

元のプログラムは、「STARFAX Server SDK VB 開発向けプリンタドライバとビューア」の  
2.2 TIFF ファイルの作成と FAX 送信 をご覧ください。

---



## 2.2.1 FAX 送信

FAX 送信プログラム【SendFax.exe】は、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないコンピュータから FAX の送信を行うサンプルプログラムです。本 CD-ROM の以下の位置に入っています。

¥サンプル¥応用¥サンプル¥クライアント¥共有フォルダ¥VB6¥SendFax.exe ... FAX 送信プログラム  
¥サンプル¥応用¥サンプル¥クライアント¥共有フォルダ¥VB6¥SendFax¥  
... FAX 送信プログラム 開発プロジェクト

なお、このサンプルプログラムには、元となるサンプルプログラムがあり、FAX 送信に関する部分を共有フォルダに出力する仕組みに変更して、クライアント動作するようにしています。  
共有フォルダ以外の処理については、「STARFAX Server SDK VB 開発向け OCX プログラミングマニュアル」の 2.1 FAX 送信 をご覧ください。

主な仕様、および操作方法是以下の通りです。

(以降、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコンを [ サーバー側 ]、  
STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンを [ クライアント側 ] とします)

- ① [ サーバー側 ]で STARFAX Server SDK を起動します。  
(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」P21 参照)
- ② [ サーバー側 ] の 送信命令フォルダ[ 制御関連インターフェイスフォルダ¥SENDMIS ] を共有設定して、他のパソコンからアクセス(読み書き)できるようにします。  
(※フォルダの共有設定方法は、OSにより異なります)
- ③ [ クライアント側 ]で FAX 送信プログラム【SendFax.exe】 を起動します。  
(起動時の作業(カレント)フォルダの指定は特にありません。)
- ④ [ 共有設定した FAX 送信フォルダ(X) ]を指定します。
- ⑤ 各種送信内容を指定します。
  - [ 相手先(S) ]ボタンを押して、相手先を指定します。
  - [ 原稿(D) ]ボタンを押して、原稿を指定します。
  - 必要であれば、[ 送付状(C) ]ボタンを押して、送付状を指定します。
  - 必要であれば、[ 発信元(U) ]ボタンを押して、発信元情報を指定します。

⑥ [ 送信 (G) ] ボタンを押して、FAX 送信を行います。

この後、FAX 送信が正常に動作していない場合は、[ サーバー側 ] の STARFAX Server SDK  
ログ管理プログラム で [ イベント ] の内容を確認して下さい。

---

Form1.frm :

```
'*****  
' 送信ボタン: クリック  
'*****
```

```
Private Sub CommandOK_Click()
```

~

```
'/////////////////////////////////////////  
'// (3) 共有フォルダ形式の送信命令ファイル作成  
'//  
'// SFCSSendFax コントロール 《 共有フォルダ形式の送信命令ファイル作成 》  
'// Function MakeSendMissionToSharedFolder (SharedFolder As String,  
'// CoverName As String,  
'// FontName As String,  
'// FontSize As Integer  
'// UserInfo As String,  
'// UserID As String,  
'// Acount As String) as Long  
'//
```

```
IRet = SFCSSendFax1.MakeSendMissionToSharedFolder (strShrFolder, strCover, strCoverFontName,  
sCoverFontSize, strUserInfo, strUserID, "")
```

```
If IRet = SFCSENDFAX_SUCCESS Then  
    MsgBox "送信命令ファイルを作成しました。", vbOKOnly, s_cstTITLE  
Else  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFolder Then  
        MsgBox "一時フォルダの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFile Then  
        MsgBox "一時ファイルの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_MakeMisName Then  
        MsgBox "送信命令ファイル名の作成に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_NoShareFolder Then  
        MsgBox "共有設定した F A X 送信命令フォルダが存在しません", vbExclamation,  
s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_MakeShareDocFolder Then
```

```

        MsgBox "共有フォルダに送信原稿フォルダを作成できませんでした", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_MakeShareDocFile Then
        MsgBox "共有フォルダに送信原稿をコピーできませんでした", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_MakeShareCvrFile Then
        MsgBox "共有フォルダに送付状をコピーできませんでした", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_INFO Then
        MsgBox "パラメータエラー: 送信命令ファイル作成情報が指定されていません。",
vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDDNUM Then
        MsgBox "パラメータエラー: 相手先数の指定が 0 です。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO Then
        MsgBox "パラメータエラー: 相手先情報が指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX Then
        MsgBox "パラメータエラー: FAX 番号が指定されていません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCorCOVER Then
        MsgBox "パラメータエラー: 送信原稿ファイル、送付状ファイルが、ともに指定されてい
ません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCNAME Then
        MsgBox "パラメータエラー: 送信原稿ファイル名が指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SHAREFOLDER Then
        MsgBox "パラメータエラー: 共有設定した F A X 送信命令フォルダが指定されていません。
", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
End If
End Sub

```

## 2.2.2 印刷結果のFAX送信

印刷結果のFAX送信プログラム【PrtCli.exe】は、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンで印刷結果の表示とFAX送信を行うサンプルプログラムです。本CD-ROMの以下の位置に入っています。ワード・エクセル等のアプリケーションから手動で印刷後、プリンタドライバからユーザープログラムが起動されます。

¥サンプル¥応用¥サンプル¥クライアント¥共有フォルダ¥VB6¥PrtCli.exe  
... 印刷結果のFAX送信プログラム  
¥サンプル¥応用¥サンプル¥クライアント¥共有フォルダ¥VB6¥PrtCli¥  
... 印刷結果のFAXプログラム 開発プロジェクト

なお、このサンプルプログラムには、元となるサンプルプログラムがあり、FAX送信に関する部分を共有フォルダに出力する仕組みに変更して、クライアント動作するようにしています。共有フォルダ以外の処理については、「STARFAX Server SDK VB 開発向けプリンタドライバとビューア」の2.1 印刷結果のFAX送信をご覧ください。

主な仕様、および操作方法是以下の通りです。

(以降、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコンを [ サーバー側 ]、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンを [ クライアント側 ] とします)

- ① [ サーバー側 ] で STARFAX Server SDK を起動します。  
(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」P21 参照)
- ② [ サーバー側 ] の 送信命令フォルダ [ 制御関連インターフェイスフォルダ¥SENDMIS ] を共有設定して、他のパソコンからアクセス(読み書き)できるようにします。  
(※フォルダの共有設定方法は、OSにより異なります)
- ③ [ クライアント側 ] で、以下の STARFAX Server SDK プリンタドライバの動作に関するレジストリを指定します。
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥Software¥MEGASOFT¥SfCs¥OutFolder ... ファイル出力フォルダ  
文字列項目で、任意の作業フォルダを作成して指定します。  
(例: "C:¥Program Files¥SfCs¥Temp")
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥Software¥MEGASOFT¥SfCs¥DocName ... ドキュメント名  
文字列項目で、このサンプルプログラムの場合、任意の文字列を指定します。  
(例: "SFCSPRN")

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\MEGASOFT\SfCs\ExecFlag ...プログラム実行フラグ  
DWORD 項目で、1 を指定します。
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\MEGASOFT\SfCs\ExecPath ...プログラムパス  
文字列項目で、PrtCli.exe をフルパスで指定します。  
(例: "C:\Program Files\SfCs\PrtCli.exe")
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\MEGASOFT\SfCs\ExecParam ...追加パラメータ  
文字列項目で、何も指定していない状態("") を設定します。
- ④ 印刷可能な適当なアプリケーション(ワード等)から プリンタ名 "MEGASOFT STARFAX Server SDK"  
に対して印刷を行うと 印刷結果のFAX送信プログラム【PrtCli.exe】 が起動して、印刷結果  
リスト に 印刷結果が 登録された状態になります。
- ⑤ [ 共有設定したFAX 送信フォルダ(X) ]を指定します。
- ⑥ [ 表示(V) ]ボタンを押して、印刷結果の内容を確認します。
- ⑦ [ FAX送信(S) ]ボタンを押して、FAX 送信を行います。  
この後、FAX 送信が正常に動作していない場合は、[ サーバー側 ] の STARFAX Server SDK ログ  
管理プログラム で [ イベント ] の内容を確認して下さい。
-

Form1.frm :

```
'*****  
' FAX送信ボタン: クリック  
'*****
```

Private Sub CommandOK\_Click()

~

```
' _____  
' 共有フォルダ形式の送信命令ファイル作成  
' _____
```

```
IRet = SFCSSendFax1.MakeSendMissionToSharedFolder(strShrFolder, "", "", 0, "", "", "")  
  
If IRet = SFCSSENDFAX_SUCCESS Then  
    MsgBox "送信命令ファイルを作成しました。", vbOKOnly, s_cstTITLE  
Else  
    If IRet = SFCSSENDFAX_ERR_GetTempFolder Then  
        MsgBox "一時フォルダの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSSENDFAX_ERR_GetTempFile Then  
        MsgBox "一時ファイルの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSSENDFAX_ERR_MakeMisName Then  
        MsgBox "送信命令ファイル名の作成に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSSENDFAX_ERR_NoShareFolder Then  
        MsgBox "共有設定したFAX送信命令フォルダが存在しません", vbExclamation,  
s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSSENDFAX_ERR_MakeShareDocFolder Then  
        MsgBox "共有フォルダに送信原稿フォルダを作成できませんでした", vbExclamation,  
s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSSENDFAX_ERR_MakeShareDocFile Then  
        MsgBox "共有フォルダに送信原稿をコピーできませんでした", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSSENDFAX_ERR_MakeShareCvrFile Then  
        MsgBox "共有フォルダに送付状をコピーできませんでした", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSSENDFAX_ERR_PARAM_INFO Then
```

```

        MsgBox "パラメータエラー：送信命令ファイル作成情報が指定されていません。",
vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDCOUNT Then
        MsgBox "パラメータエラー：相手先数の指定が 0 です。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO Then
        MsgBox "パラメータエラー：相手先情報が指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX Then
        MsgBox "パラメータエラー：FAX 番号が指定されていません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCorCOVER Then
        MsgBox "パラメータエラー：送信原稿ファイル、送付状ファイルが、ともに指定されてい
ません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCNAME Then
        MsgBox "パラメータエラー：送信原稿ファイル名が指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SHAREFOLDER Then
        MsgBox "パラメータエラー：共有設定した F A X 送信命令フォルダが指定されていません。
", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
End If

~

End

End Sub

```



### 2.2.3 TIFF ファイルの作成と FAX 送信

TIFF ファイルの FAX 送信プログラム【PrtCli2.exe】は、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンで TIFF ファイルの作成 と FAX 送信を行うサンプルプログラムです。本 CD-ROM の以下の位置に入っています。ユーザープログラムがプリンタドライバを制御して印刷結果(TIFF ファイル)を取得します。

¥サンプル¥応用¥サンプル¥クライアント¥共有フォルダ¥VB6¥PrtCli2.exe  
... TIFF ファイルの FAX 送信プログラム  
¥サンプル¥応用¥サンプル¥クライアント¥共有フォルダ¥VB6¥PrtCli2¥  
... TIFF ファイルの FAX 送信プログラム 開発プロジェクト

なお、このサンプルプログラムには、元となるサンプルプログラムがあり、FAX 送信に関する部分を共有フォルダに出力する仕組みに変更して、クライアント動作するようにしています。共有フォルダ以外の処理については、「STARFAX Server SDK VB 開発向けプリンタドライバとビューア」の 2.2 *TIFF ファイルの作成と FAX 送信* をご覧ください。

主な仕様、および操作方法是以下の通りです。

(以降、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコンを [ サーバー側 ]、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンを [ クライアント側 ] とします)

- ① [ サーバー側 ] で STARFAX Server SDK を起動します。  
(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」P21 参照)
- ② [ サーバー側 ] の 送信命令フォルダ[ 制御関連インターフェイスフォルダ¥SENDMIS ] を共有設定して、他のパソコンからアクセス(読み書き)できるようにします。  
(※フォルダの共有設定方法は、OSにより異なります)
- ③ [ クライアント側 ] で PrtCli2.exe を起動します。
- ④ [ 共有設定した FAX 送信フォルダ(X) ] を指定します。
- ⑤ 「操作 1」の下欄に FAX 原稿に表示させる文字を入力します。
- ⑥ 「①FAX 原稿の作成」ボタンをクリックします。  
(作成するファイル名を任意指定したい場合は、[指定]ラジオボタンをクリックして、ファイル名を入力してください。)

- ⑦ 「②FAX 原稿の表示」ボタンをクリックすると、作成された FAX 原稿が STARFAX Server SDK ビューアで表示されます。
  - ⑧ 「操作 3」の下欄に送信先の FAX 番号を入力します。
  - ⑨ 「FAX 送信」ボタンをクリックします。  
この後、FAX 送信が正常に動作していない場合は、[ サーバー側 ] の STARFAX Server SDK ログ管理プログラム で [ イベント ] の内容を確認して下さい。
-

Form1.frm :

```
'*****  
' [ F A X送信スタート]ボタン: クリック  
'*****
```

```
Private Sub CommandOK_Click()
```

～

```
' _____  
' 共有フォルダ形式の送信命令ファイル作成  
' _____
```

```
IRet = SFCSSendFax1.MakeSendMissionToSharedFolder(strShrFolder, "", "", 0, "", "", "")
```

```
If IRet = SFCSENDFAX_SUCCESS Then
```

```
    MsgBox "送信命令ファイルを作成しました。", vbOKOnly, s_cstTITLE
```

～

```
Else  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFolder Then  
        MsgBox "一時フォルダの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFile Then  
        MsgBox "一時ファイルの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_MakeMisName Then  
        MsgBox "送信命令ファイル名の作成に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_NoShareFolder Then  
        MsgBox "共有設定した F A X 送信命令フォルダが存在しません", vbExclamation,  
s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_MakeShareDocFolder Then  
        MsgBox "共有フォルダに送信原稿フォルダを作成できませんでした", vbExclamation,  
s_cstTITLE  
    End If  
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_MakeShareDocFile Then  
        MsgBox "共有フォルダに送信原稿をコピーできませんでした", vbExclamation, s_cstTITLE
```

```

End If
If IRet = SFCSENDFAX_ERR_MakeShareCvrFile Then
    MsgBox "共有フォルダに送付状をコピーできませんでした", vbExclamation, s_cstTITLE
End If
If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_INFO Then
    MsgBox "パラメータエラー: 送信命令ファイル作成情報が指定されていません。",
vbExclamation, s_cstTITLE
End If
If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDCOUNT Then
    MsgBox "パラメータエラー: 相手先数の指定が 0 です。", vbExclamation, s_cstTITLE
End If
If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO Then
    MsgBox "パラメータエラー: 相手先情報が指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
End If
If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX Then
    MsgBox "パラメータエラー: FAX 番号が指定されていません。", vbExclamation, s_cstTITLE
End If
If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCorCOVER Then
    MsgBox "パラメータエラー: 送信原稿ファイル、送付状ファイルが、ともに指定されてい
ません。", vbExclamation, s_cstTITLE
End If
If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_DOCNAME Then
    MsgBox "パラメータエラー: 送信原稿ファイル名が指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
End If
If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SHAREFOLDER Then
    MsgBox "パラメータエラー: 共有設定した F A X 送信命令フォルダが指定されていません。
", vbExclamation, s_cstTITLE
End If
End If
End Sub

End Sub

```

# 第Ⅲ章

## [ メール de FAX ]でFAX 送信

[ メール de FAX ]機能で、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンから FAX 送信する方法についてご説明します。

- 3.1 [ メール de FAX ]でFAX 送信
- 3.2 [ メール de FAX ]の依頼メールの仕様
- 3.3 サンプルプログラム

## 3.1 [ メール de FAX ]でFAX 送信

[ メール de FAX ]機能で、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンから FAX 送信する方法は、以下の通りです。

(以降、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコンを [ サーバー側 ]、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンを [ クライアント側 ] とします)

① [ サーバー側 ]で [ メール de FAX ] の設定を有効にします。

(1) タスクトレイの STARFAX Server SDK のアイコンを右クリックして表示されるメニューから [ メール de FAX ] を実行します。

(2) 最低限、以下の項目を設定します。

- [ メール de FAX を有効にする(Y) ] をチェックします。
- [ メールサーバーの設定(S) ] を行います。

(3) 必要に応じて、以下の項目を設定します。

- [ 件名に含まれる文字で識別(I) ]
- [ メール受信間隔(N) ]
- [ 対象外のメールを EML ファイルに保存(P) ]、及び、関連項目
- [ FAX 送信結果をメール通知する(N) ]、及び、関連項目

② [ サーバー側 ]で STARFAX Server SDK を起動します。

(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」P21 参照)

③ [ クライアント側 ]から [ メール de FAX ]の依頼メールを [ サーバー側 ]で設定した [ POP メールアドレス ] に送信します。

([ メール de FAX ]の依頼メールの詳細は 3.2 [ メール de FAX ]の依頼メールの仕様をご覧ください)

## 3.2 [ メール de FAX ]の依頼メールの仕様

STARFAX Server SDK の [ メール de FAX ]機能が動作している場合、設定された [ POP メールアドレス ]に対しての依頼メールを送信すると、FAX 送信を行います。

この仕組みには、以下の特徴があります。

- 相手先を複数指定することができます。(同報送信)
- 送信原稿ファイルを複数指定することができます。
- 送付状を指定することができます。  
(送付状ファイルは、テキストファイルで、差込内容を %? で指定できます。)
- 発信元情報を指定することができます。

依頼メールの仕様についてご説明します。

---

### ■ 依頼メールの構成

#### ● 宛先

[ メール de FAX 設定 ] の [ メールサーバー設定(S) ]で設定されている [ POP メールアドレス ] を指定します。

#### ● 件名

件名には、[ メール de FAX 設定 ] の [ 件名に含まれる文字で識別(I) ] で設定されている文字列を含んでいる必要があります。含んでいないと依頼メールとして扱われません。

例: “ Mail to FAX”

#### ● 本文

[ メール de FAX ] では扱われません。  
(設定されていても FAX 送信されることはありません)

## ● 添付ファイル

添付ファイルは以下のファイルを指定します。

- ・ 送信命令ファイル
- ・ 送信原稿ファイル
- ・ 送付状ファイル

詳細については後述をご覧ください。

## ■ 送信命令ファイル

送信命令ファイルは、INI ファイル形式のファイルです。

ファイル名は、必ず、“Trans.txt”である必要があります。

全ての項目を指定する必要はありません。

最低限、相手先の FAX 番号を指定すれば FAX 送信できます。（※）

（※ 添付ファイルで送信原稿ファイルが設定されている必要があります）

なお、STARFAX OCX に 送信命令ファイル作成メソッド をご用意しています。

（FAX 送信コントロール [ SFCSSendFax ] - MakeTransFileForMailToFax 《 [ メール de FAX ] の送信命令ファイル作成 》）

```
[SendInfo]
Num=1
[Send1]
Fax=0663868894
```

その他の情報は、送付状への差込、発信元情報への差込、ログに情報を残したい、等の必要に応じて設定します。

## ● セクション名: [SendInfo] ... 送信のための相手先情報

- ・ Num ... 送信相手先数



● セクション名: [Send%d] ... 送信のための相手先内容 (1~)

- ・ Fax ... FAX 番号 (最大 128 バイト)
- ・ Company ... 会社名 (最大 128 バイト)
- ・ Division ... 所属名 (最大 128 バイト)
- ・ Position ... 役職名 (最大 128 バイト)
- ・ Name ... 氏名 (最大 128 バイト)
- ・ Title ... 敬称 (最大 128 バイト)
- ・ Telephone ... 電話番号 (最大 128 バイト)
- ・ ZipCode ... 郵便番号 (最大 128 バイト)
- ・ Address1 ... 住所 1 (最大 128 バイト)
- ・ Address2 ... 住所 2 (最大 128 バイト)
- ・ Speed ... 通信速度 ("0":自動, "1":高速, "2":中速, "3":低速)
- ・ Comp ... 圧縮方式 ("0":自動, "1":MH, "2":MR, "3":MMR)
- ・ Ecm ... エラー訂正 ("0":自動, "1":利用する, "2":利用しない)
- ・ FCode ... Fコード番号 (最大 20 バイト)
- ・ FreeArea ... ユーザが自由に利用できるエリア (最大 128 バイト)
- ・ Line ... 送信回線指定 (0~)  
(指定がない場合は、空いている回線から送信されます)
- ・ Priority ... 優先順位 (0~15)  
(指定がない場合の優先順位は 8 です。)
- ・ Time ... 送信時刻 ("YYMMDDHHMMSS")

● セクション名: [Cover] ... 送付状

- ・ Name ... 送付状ファイルパス (.txt)  
(さらに、添付ファイルで設定する必要があります)
- ・ FontName ... 送付状フォント名  
(指定がない場合は "MS ゴシック" です)
- ・ FontSize ... 送付状フォントサイズ (8 ~ 72 (ポイント))  
(指定がない場合は 10 ポイント です)

● セクション名: [User] ... 発信元情報

- ・ UserInfo ... 発信元情報記録 ("記録位置, 記録情報")  
("0":記録しない, "1":原稿の内側に記録, "2":原稿の外側に記録)
- ・ UserID ... 自局電話番号 (FAXID として、相手ファクシミリに通知されます。)  
(最大 20 バイトで、半角数字、スペース、+を設定してください。)

【 発信元情報の仕様 】

発信元情報とは、FAX 送信時に、各ページ毎、送信原稿の先頭に付加する情報です。  
発信元情報は、[User]-UserInfo に、“記録位置、記録情報”の形式で指定します。

## ● 記録位置

- 0: 記録しません。
- 1: 原稿の内側に記録します。原稿の内容によっては、原稿の先頭が少し消えてしまう可能性があります。
- 2: 原稿の外側に記録します。

1、または、2を指定すると、記録情報を指定していなくても日付とページ数は記録されます。

[User]

User Info=1,

2001 12/ 1 10:12 Page 01

## ● 記録情報

自由に文字を指定できます。

以下の差込も使用できます。

- ・ %S ... 会社名 ([Send%d] セクション-Company が差し込まれます。)
- ・ %N ... 氏名 ([Send%d] セクション-Name と  
[Send%d] セクション-Title が差し込まれます。)
- ・ %T ... FAX 番号 ([Send%d] セクション-Fax が差し込まれます。)

[Send1]

Company=山田サークル

Name=山田

[User]

User Info=1, メガ太郎 → %S %N

↓

メガ太郎 → 山田サークル 山田様 2001 12/ 1 10:12 Page 01

## ■ 送信原稿ファイル

送信原稿ファイルは、以下の形式のファイルを複数指定可能です。

- ファイル形式:
- ・ TIFF 形式
    - 圧縮なし
    - 修正 CCITT MH 圧縮
    - CCITT G3 MH 圧縮
    - CCITT G3 MR 圧縮
    - PackBits 圧縮
    - Class F 圧縮
    - G4 圧縮
    - JPEG 圧縮
  - ・ BMP ファイル
  - ・ PCX ファイル
  - ・ DCX ファイル
  - ・ JPEG ファイル
  - ・ テキストファイル
  - ・ FAX ファイル
  - ・ LNK ファイル

## ■ 送付状ファイルの仕様

テキストファイル(\*.txt)で、自由に作成したファイルを指定できます。  
文字フォントは、“MS ゴシック”、大きさは10ポイントとして扱われ、FAX送信されます。

以下の差込が有効です。

- %S ... 会社名 ([Send%d]セクションCompany が差し込まれます。)
- %D ... 所属名 ([Send%d]セクションDivision が差し込まれます。)
- %Y ... 役職名 ([Send%d]セクションPosition が差し込まれます。)
- %N ... 氏名 ([Send%d]セクションName が差し込まれます。)
- %Z ... 郵便番号 ([Send%d]セクションZipCode が差し込まれます。)
- %A ... 住所1 ([Send%d]セクションAddress1 が差し込まれます。)
- %B ... 住所2 ([Send%d]セクションAddress2 が差し込まれます。)
- %H ... 電話番号 ([Send%d]セクションTelephone が差し込まれます。)
- %T ... FAX 番号 ([Send%d]セクションFax が差し込まれます。)
- %K ... 敬称 ([Send%d]セクションTitle が差し込まれます。)
- %P ... ページ数 (自動的に計算され、差し込まれます。)
- %x ... xxxx ([Send%d]セクション が差し込まれます。)

////////////////////////////////////  
ファクシミリ送付のご案内  
////////////////////////////////////

%S  
%D  
%Y  
%N %K

メガソフト株式会社  
メガ太郎

毎度格別のお引き立てにあずかり、まことにありがとうございます。  
下記の書類を拝送しますので、よろしくご査収下さいますようお願い申し上げます。

記

以上

### 3.3 サンプルプログラム

サンプルプログラムは、3種類のプログラムを用意しています。それぞれ、元となるサンプルプログラムがあり、FAX 送信に関する部分を[ メール de FAX ]の仕組みに変更して、クライアント動作するようにしています。

[ メール de FAX ]以外の処理については、元の各種マニュアルをご覧ください。

- FAX 送信する (SendFAX.exe)

元のプログラムは、「STARFAX Server SDK VB 開発向け OCX プログラミングマニュアル」の  
2.1 FAX 送信 をご覧ください。

- 印刷結果のFAX 送信 (PrtCli.exe)

元のプログラムは、「STARFAX Server SDK VB 開発向けプリンタドライバとビューア」の  
2.1 印刷結果のFAX 送信 をご覧ください。

- TIFF ファイルの作成とFAX 送信 (PrtCli2.exe)

元のプログラムは、「STARFAX Server SDK VB 開発向けプリンタドライバとビューア」の  
2.2 TIFF ファイルの作成とFAX 送信 をご覧ください。

---

### 3.3.1 FAX 送信

FAX 送信プログラム【SendFax.exe】は、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないコンピュータから FAX の送信を行うサンプルプログラムです。本 CD-ROM の以下の位置に入っています。

¥サンプル¥応用サンプル¥クライアント¥メール de F A X¥VB6¥SendFax.exe  
... FAX 送信プログラム  
¥サンプル¥応用サンプル¥クライアント¥メール de F A X¥VB6¥SendFax¥  
... FAX 送信プログラム 開発プロジェクト

なお、このサンプルプログラムには、元となるサンプルプログラムがあり、FAX 送信に関する部分を[ メール de F A X ]の仕組みに変更して、クライアント動作するようにしています。  
[ メール de F A X ]以外の処理については、「STARFAX Server SDK VB 開発向け OCX プログラミングマニュアル」の 2.1 FAX 送信 をご覧ください。

主な仕様、および操作方法は以下の通りです。

(以降、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコンを [ サーバー側 ]、STARFAX Server SD 本体をセットアップしていないパソコンを [ クライアント側 ] とします)

① [ サーバー側 ]で [ メール de F A X ] の設定を有効にします。

(1) タスクトレイの STARFAX Server SDK のアイコンを右クリックして表示されるメニューから [ メール de F A X ] を実行します。

(2) 最低限、以下の項目を設定します。

- [ メール de F A X を有効にする(Y) ] をチェックします。
- [ メールサーバーの設定(S) ] を行います。

(3) 必要に応じて、以下の項目を設定します。

- [ 件名に含まれる文字で識別(I) ]
- [ メール受信間隔(N) ]
- [ 対象外のメールを EML ファイルに保存(P) ]、及び、関連項目
- [ FAX 送信結果をメール通知する(N) ]、及び、関連項目

② [ サーバー側 ]で STARFAX Server SDK を起動します。

(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」P21 参照)

- ③ [ クライアント側 ] で FAX 送信プログラム【SendFax.exe】を起動します。  
(起動時の作業(カレント)フォルダの指定は特にありません)
- ④ 各種送信内容を指定します。
- [ 相手先(S) ] ボタンを押して、相手先を指定します。
  - [ 原稿(D) ] ボタンを押して、原稿を指定します。
  - 必要であれば、[ 送付状(C) ] ボタンを押して、送付状を指定します。
  - 必要であれば、[ 発信元(U) ] ボタンを押して、発信元情報を指定します。
- ⑤ [ メール送信(G) ] ボタンを押して、メール送信を行います。  
この後、FAX 送信が正常に動作していない場合は、[ サーバー側 ] の以下の表示をご確認下さい。
- STARFAX Server SDK ログ管理プログラム の [ イベント ]  
(主に、[ コントロール ] と [ メール ] をご確認ください)
  - [ メール de FAX ] 設定 の システムメニュー の [ イベントログ ]
-

Form1.frm :

```
'*****  
' メール送信ボタン: クリック  
'*****
```

```
Private Sub CommandOK_Click()
```

~

```
' ///////////////////////////////////  
' // (2) [ メール de F A X ]の送信命令ファイル作成  
' //  
' // SFCSSendFax コントロール 《 [ メール de F A X ]の送信命令ファイル作成 》  
' // Function MakeTransFileForMailToFax(TransFile As String,  
' // CoverName As String,  
' // FontName As String,  
' // FontSize As Integer  
' // UserInfo As String,  
' // UserID As String) as Long  
' //  
  
IRet = SFCSSendFax1.MakeTransFileForMailToFax(strTrans, strCover, strCoverFontName,  
sCoverFontSize, strUserInfo, strUserID)  
If IRet = SFCSENDFAX_SUCCESS Then  
  
MsgBox "このサンプルプログラムは MAPI を利用してメール送信を行います。" &  
vbCrLf & "宛先 に STARFAX Server SDK の [ メール de F A X ] で設定した" & vbCrLf &  
"POP メールアドレス を指定して送信してください。" & vbCrLf & vbCrLf & "なお、送信後、  
OUTLOOK 等メーラーを起動して送信を行わないと" & vbCrLf & "実際に送信されないことがあ  
ります。", vbInformation, s_cstTITLE
```

```
' ///////////////////////////////////  
' // メール送信  
' ///////////////////////////////////
```

```
MAPISession1.SignOn
```

```
With MAPIMessages1
```

```
' セッション確立  
.SessionID = MAPISession1.SessionID
```



```

.Compose

'// 件名、本文
.MsgSubject = "Mail to FAX"
.MsgNoteText = "Mail to FAX"

' 送信命令ファイル
.AttachmentIndex = .AttachmentCount
.AttachmentPathName = strTrans
.AttachmentPosition = .AttachmentCount

' 送信原稿
If TextDOC1.Text <> "" Then
    .AttachmentIndex = .AttachmentCount
    .AttachmentPathName = TextDOC1.Text
    .AttachmentPosition = .AttachmentCount
End If
If TextDOC2.Text <> "" Then
    .AttachmentIndex = .AttachmentCount
    .AttachmentPathName = TextDOC2.Text
    .AttachmentPosition = .AttachmentCount
End If
If TextDOC3.Text <> "" Then
    .AttachmentIndex = .AttachmentCount
    .AttachmentPathName = TextDOC3.Text
    .AttachmentPosition = .AttachmentCount
End If
If TextDOC4.Text <> "" Then
    .AttachmentIndex = .AttachmentCount
    .AttachmentPathName = TextDOC4.Text
    .AttachmentPosition = .AttachmentCount
End If

' 送付状
If strCover <> "" Then
    .AttachmentIndex = .AttachmentCount
    .AttachmentPathName = strCover
    .AttachmentPosition = .AttachmentCount
End If

'// メール送信
.Send True

End With

```

```

'セッション開放
MAPISession1.SignOff

Else
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFolder Then
        MsgBox "一時フォルダの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFile Then
        MsgBox "一時ファイルの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_CreateTransFile Then
        MsgBox "送信命令ファイルの作成に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_INFO Then
        MsgBox "パラメータエラー: 送信命令ファイル作成情報が指定されていません。",
vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDDNUM Then
        MsgBox "パラメータエラー: 相手先数の指定が 0 です。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO Then
        MsgBox "パラメータエラー: 相手先情報が指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX Then
        MsgBox "パラメータエラー: FAX 番号が指定されていません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_TRANSFILE Then
        MsgBox "パラメータエラー: 送信命令ファイルが指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If
End If
End If

~

End Sub

```

### 3.3.2 印刷結果のFAX送信

印刷結果のFAX送信プログラム【PrtCli.exe】は、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンで印刷結果の表示とFAX送信を行うサンプルプログラムです。本CD-ROMの以下の位置に入っています。ワード・エクセル等のアプリケーションから手動で印刷後、プリンタドライバからユーザープログラムが起動されます。

¥サンプル¥応用¥サンプル¥クライアント¥メール de FAX¥VB¥PrtCli.exe  
... 印刷結果のFAX送信プログラム  
¥サンプル¥応用¥サンプル¥クライアント¥メール de FAX¥VB¥PrtCli¥  
... 印刷結果のFAXプログラム 開発プロジェクト

なお、このサンプルプログラムには、元となるサンプルプログラムがあり、FAX送信に関する部分を[メール de FAX]の仕組みに変更して、クライアント動作するようにしています。[メール de FAX]以外の処理については、「STARFAX Server SDK VB 開発向けプリンタドライバとビューア」の2.1 印刷結果のFAX送信をご覧ください。

主な仕様、および操作方法是以下の通りです。

(以降、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコンを [サーバー側]、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンを [クライアント側] とします)

① [サーバー側]で [メール de FAX] の設定を有効にします。

(1) タスクトレイの STARFAX Server SDK のアイコンを右クリックして表示されるメニューから [メール de FAX] を実行します。

(2) 最低限、以下の項目を設定します。

- [メール de FAX を有効にする(Y)] をチェックします。
- [メールサーバーの設定(S)] を行います。

(3) 必要に応じて、以下の項目を設定します。

- [件名に含まれる文字で識別(I)]
- [メール受信間隔(N)]
- [対象外のメールをEMLファイルに保存(P)]、及び、関連項目
- [FAX送信結果をメール通知する(N)]、及び、関連項目

- ② [ サーバー側 ]で STARFAX Server SDK を起動します。  
(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」 P21 参照)
- ③ [ クライアント側 ]で、以下の STARFAX Server SDK プリンタドライバの動作に関するレジストリを指定します。
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\MEGASOFT\SfCs\OutFolder ... ファイル出力フォルダ  
文字列項目で、任意の作業フォルダを作成して指定します。  
(例: "C:\Program Files\SfCs\Temp")
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\MEGASOFT\SfCs\DocName ... ドキュメント名  
文字列項目で、このサンプルプログラムの場合、任意の文字列を指定します。  
(例: "SFCSPRN")
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\MEGASOFT\SfCs\ExecFlag ... プログラム実行フラグ  
DWORD 項目で、1 を指定します。
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\MEGASOFT\SfCs\ExecPath ... プログラムパス  
文字列項目で、PrtCli.exe をフルパスで指定します。  
(例: "C:\Program Files\SfCs\PrtCli.exe")
  - HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\MEGASOFT\SfCs\ExecParam ... 追加パラメータ  
文字列項目で、何も指定していない状態("")を設定します。
- ④ 印刷可能な適当なアプリケーション(ワード等)から プリンタ名 "MEGASOFT STARFAX Engine"  
に対して印刷を行うと 印刷結果の F A X 送信プログラム【PrtCli.exe】 が起動して、印刷結果  
リスト に 印刷結果が 登録された状態になります。
- ⑤ [ 表示(V) ]ボタンを押して、印刷結果の内容を確認します。
- ⑥ [ メール送信(S) ]ボタンを押して、メール送信を行います。  
この後、FAX 送信が正常に動作していない場合は、[ サーバー側 ] の以下の表示をご確認下さい。
- STARFAX Server SDK ログ管理プログラムの [ イベント ]  
(主に、[ コントロール ] と [ メール ] をご確認ください)
  - [ メール de F A X 設定 ] の システムメニュー の [ イベントログ ]
-

Form1.frm :

```
'*****  
' メール送信ボタン: クリック  
'*****
```

Private Sub CommandOK\_Click()

~

```
' _____  
' [ メール de FAX ]の送信命令ファイル作成  
' _____
```

```
IRet = SFCSSendFax1.MakeTransFileForMailToFax(strTrans, "", "", 0, "", "")  
If IRet = SFCSENDFAX_SUCCESS Then
```

MsgBox "このサンプルプログラムは MAPI を利用してメール送信を行います。" &  
vbCrLf & "宛先 に STARFAX Server SDK の [ メール de FAX ] で設定した" & vbCrLf &  
"POP メールアドレス を指定して送信してください。" & vbCrLf & vbCrLf & "なお、送信後、  
OUTLOOK 等メーラーを起動して送信を行わないと" & vbCrLf & "実際に送信されないことがあ  
ります。", vbInformation, s\_cstTITLE

```
' ///////////////////////////////////  
' // メール送信  
' ///////////////////////////////////
```

MAPISession1.SignOn

With MAPIMessages1

```
' セッション確立  
.SessionID = MAPISession1.SessionID  
.Compose  
  
' // 件名、本文  
.MsgSubject = "Mail to FAX"  
.MsgNoteText = "Mail to FAX"  
  
' 送信命令ファイル  
.AttachmentIndex = .AttachmentCount  
.AttachmentPathName = strTrans  
.AttachmentPosition = .AttachmentCount
```

```

' 送信原稿
.AttachmentIndex = .AttachmentCount
.AttachmentPathName = s_strFileName
.AttachmentPosition = .AttachmentCount

' // メール送信
.Send True

End With

' セッション開放
MAPISession1.SignOff

~

Else
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFolder Then
        MsgBox "一時フォルダの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFile Then
        MsgBox "一時ファイルの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_CreateTransFile Then
        MsgBox "送信命令ファイルの作成に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_INFO Then
        MsgBox "パラメータエラー: 送信命令ファイル作成情報が指定されていません。",
vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDDNUM Then
        MsgBox "パラメータエラー: 相手先数の指定が 0 です。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO Then
        MsgBox "パラメータエラー: 相手先情報が指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX Then
        MsgBox "パラメータエラー: FAX 番号が指定されていません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_TRANSFILE Then
        MsgBox "パラメータエラー: 送信命令ファイルが指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If

```

End If

~

End

End Sub

### 3.3.3 TIFF ファイルの作成と F A X 送信

TIFF ファイルの F A X 送信プログラム【PrtCli2.exe】は、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンで TIFF ファイルの作成 と FAX 送信を行うサンプルプログラムです。本 CD-ROM の以下の位置に入っています。ユーザープログラムがプリンタドライバを制御して印刷結果(TIFF ファイル)を取得します。

¥サンプル¥応用サンプル¥クライアント¥メール de F A X¥VB6¥PrtCli2.exe  
... TIFF ファイルの F A X 送信プログラム  
¥サンプル¥応用サンプル¥クライアント¥メール de F A X¥VB6¥PrtCli2¥  
... TIFF ファイルの F A X 送信プログラム 開発プロジェクト

なお、このサンプルプログラムには、元となるサンプルプログラムがあり、FAX 送信に関する部分を[ メール de F A X ]の仕組みに変更して、クライアント動作するようにしています。[ メール to F X ]以外の処理については、「STARFAX Server SDK VB 開発向けプリンタドライバとビューア」の 2.2 *TIFF ファイルの作成と FAX 送信* をご覧ください。

主な仕様、および操作方法是以下の通りです。

(以降、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコンを [ サーバー側 ]、STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないパソコンを [ クライアント側 ] とします)

① [ サーバー側 ] で [ メール de F A X ] の設定を有効にします。

(1) タスクトレイの STARFAX Server SDK のアイコンを右クリックして表示されるメニューから [ メール de F A X ] を実行します。

(2) 最低限、以下の項目を設定します。

- [ メール de F A X を有効にする(Y) ] をチェックします。
- [ メールサーバーの設定(S) ] を行います。

(3) 必要に応じて、以下の項目を設定します。

- [ 件名に含まれる文字で識別(I) ]
- [ メール受信間隔(N) ]
- [ 対象外のメールを EML ファイルに保存(P) ]、及び、関連項目
- [ FAX 送信結果をメール通知する(N) ]、及び、関連項目



- ② [ サーバー側 ]で STARFAX Server SDK を起動します。  
(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」 P21 参照)
- ③ [ クライアント側 ]で PrtCli2.exe を起動します。
- ④ 「操作1」の下欄にFAX 原稿に表示させる文字を入力します。
- ⑤ 「①FAX 原稿の作成」ボタンをクリックします。  
(作成するファイル名を任意指定したい場合は、[指定]ラジオボタンをクリックして、ファイル名を入力してください。)
- ⑥ 「②FAX 原稿の表示」ボタンをクリックすると、作成されたFAX 原稿がSTARFAX Server SDK ビューア  
で表示されます。
- ⑦ 「操作3」の下欄に送信先のFAX 番号を入力します。
- ⑧ 「メール送信」ボタンをクリックします。  
この後、FAX 送信が正常に動作していない場合は、[サーバー側]の以下の表示をご確認下さい。
- STARFAX Server SDK ログ管理プログラムの [ イベント ]  
(主に、[ コントロール ] と [ メール ] をご確認ください)
  - [ メール de FAX 設定 ] の システムメニュー の [ イベントログ ]
-

Form1.frm :

```
'*****  
' [メール送信]ボタン: クリック  
'*****
```

```
Private Sub CommandOK_Click()
```

```
~
```

```
' _____  
' [ メール de FAX ]の送信命令ファイル作成  
' _____
```

```
IRet = SFCSSendFax1.MakeTransFileForMailToFax(strTrans, "", "", 0, "", "")
```

```
If IRet = SFCSEND FAX_SUCCESS Then
```

```
MsgBox "このサンプルプログラムは MAPI を利用してメール送信を行います。" &  
vbCrLf & "宛先 に STARFAX Server SDK の [ メール de FAX ] で設定した" & vbCrLf &  
"POP メールアドレス を指定して送信してください。" & vbCrLf & vbCrLf & "なお、送信後、  
OUTLOOK 等メーラーを起動して送信を行わないと" & vbCrLf & "実際に送信されないことがあ  
ります。", vbInformation, s_cstTITLE
```

```
' ///////////////////////////////////  
' // メール送信  
' ///////////////////////////////////
```

```
MAPISession1.SignOn
```

```
With MAPIMessages1
```

```
 ' セッション確立  
 .SessionID = MAPISession1.SessionID  
 .Compose
```

```
 ' // 件名、本文  
 .MsgSubject = "Mail to FAX"  
 .MsgNoteText = "Mail to FAX"
```

```
 ' 送信命令ファイル  
 .AttachmentIndex = .AttachmentCount  
 .AttachmentPathName = strTrans
```

```

        .AttachmentPosition = .AttachmentCount

        ' 送信原稿
        .AttachmentIndex = .AttachmentCount
        .AttachmentPathName = s_strTIFFFILE
        .AttachmentPosition = .AttachmentCount

        '// メール送信
        .Send True

End With

' セッション開放
MAPISession1.SignOff

~

Else
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFolder Then
        MsgBox "一時フォルダの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_GetTempFile Then
        MsgBox "一時ファイルの取得に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_CreateTransFile Then
        MsgBox "送信命令ファイルの作成に失敗しました", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_INFO Then
        MsgBox "パラメータエラー: 送信命令ファイル作成情報が指定されていません。",
vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDFAX Then
        MsgBox "パラメータエラー: 相手先数の指定が 0 です。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_SENDINFO Then
        MsgBox "パラメータエラー: 相手先情報が指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_FAX Then
        MsgBox "パラメータエラー: FAX 番号が指定されていません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSENDFAX_ERR_PARAM_TRANSFILE Then
        MsgBox "パラメータエラー: 送信命令ファイルが指定されていません。", vbExclamation,
s_cstTITLE
    End If

```

```
End If  
End If
```

~

```
End Sub
```